

9月 水稻生産情報

令和6年9月号
J A つがる弘前
岩木地区営農係

1. 成熟期調査結果

稈長、穂長、穂数は全品種でほぼ平年を上回っています。また、登熟歩合については、ほぼ平年値と同等の結果となりました。

成熟期調査結果（当JA管内生育観測圃平均）

調査月日 8月28日 登熟歩合は 8月30日

調査地点	調査年	稈長	穂長	穂数	登熟歩合(%)
はれわたり	本年	81.6	20.1	23.6	63.9
	平年	81.7	18.1	20.1	71.9
	前年	81.2	18.1	20.8	86.6
まっしぐら	本年	83.4	20.6	24.7	67.3
	平年	77.3	18.3	20.4	61.7
	前年	76.9	19.2	21.1	84.9
青天の霹靂	本年	86.7	21.2	18.1	67.4
	平年	76.9	18.9	17.7	61.2
	前年	75.8	19.3	18.1	85.8

2. 刈り取り時期の判断

出穂後の積算気温による刈取り始めは、はれわたりで9月10日頃からと予想されます。

ただし、今年は水田により登熟にバラつきが見られていることから、積算気温だけでなく穂の状態を確認しながら適期刈取りに努めましょう。

気象庁発表の1か月予報では、今後も気温が高く推移すると予想されていることから、収穫遅れにならないよう計画的に作業を行いましょう。

9月1日現在

品種	出穂期	積算気温からの収穫予測日	収穫の判断目安
はれわたり (岩木 一町田)	8月1日	9月10日～9月26日 積算気温 970 ～1300	圃場の籾が90%黄化 枝梗の3分の2が黄化 1穂の青未熟粒が10%以下
まっしぐら (西目屋 大秋)	7月30日	9月7日～9月18日 積算気温 960 ～1200	
青天の霹靂 (岩木 熊嶋)	8月2日	9月8日～9月17日 積算気温 900 ～1100	

3. わらのすき込み

稲わらはすき込むことで、作土層や、土壌窒素の増大、腐食の補給に役立ちます。積極的にすき込みましょう。なお、稲わらをすき込む際は腐熟促進剤を使用しましょう。

腐熟促進剤の使用方法

わらゴールド 10aあたり30kg施用

やむを得ず春にすき込みする場合でも、腐熟促進剤は秋に施用してください。

栽培履歴の提出について

水稻の栽培履歴は速やかに支店窓口まで提出をお願いいたします。

農協以外の航空防除を利用されている方へ

例年、散布時期、使用農薬の記載漏れが散見されます。提出の際は再度ご確認をお願いいたします。